

意見交換会「市民協働フォーラム（仮称）」開催企画（案）について

1 目的

横浜市市民協働条例に関して「知り、考える」場としてフォーラムを開催します。

具体的には、広く市民等に市民活動や協働、条例について知ってもらい、条例の成果や未来の協働に向けての環境整備などについて考える機会とします。

2 概要

- (1) 開催日時：平成28年10月10日（月・祝） 12:30～17:15（開場 12:00）
- (2) 場 所：横浜情報文化センター（横浜市中区日本大通11）
- (3) 対象者：市民、NPO、企業、大学、行政、その他関心のある方
- (4) 定 員：先着200名（※ホール定員239名）

3 当日のタイムテーブル（案）

時間	ホール	大会議室	ホワイエ
12:30～13:45	全体会Ⅰ	—	—
14:00～15:30	分科会	分科会	分科会
15:45～17:15	全体会Ⅱ	—	—

4 プログラム案について

○全体会Ⅰについて

テーマ	横浜市における多様な協働について ～横浜の協働の歴史と現状、これからの新しい市民社会に向けて～
ねらい	横浜市には、多様な主体による多様な協働が行われている。それらが生まれた背景や、分野ごとの事例について、パネラーから話を伺うことで、横浜の課題性や、それに対して多様な協働が行われている（あれもこれも協働である）ことを通じて、参加者は「横浜の豊かさ」について確認し合う。
パネラー案	・横浜市の協働について造詣の深い方や事例に精通している方（学識経験者など） ・各主体での実践者

○分科会について

市民協働条例で新たに盛り込まれた条文や施策を中心に、どのような成果が挙げられ、どのような課題があるのか、横浜のこれからの課題に向けた協働型社会におけるあるべき姿について考える分科会とする。

分科会①	テーマ	・提案事業
	キーワード	・市民からの提案
	ねらい	横浜市にある様々な提案制度に申請した団体からの発表を通して、提案制度をきっかけとして、どのような変化・進化が団体に生じたかといった提案制度の効果について共有し、今後の市民協働条例における「市民等からの提案事業」の展開や意義等について考える。
	パネラー案	・条例による事業提案実施者（保土ヶ谷区事例） ・まち普請事業申請団体 ・共創事業提案企業など

分科会②	テーマ	・場の力や知恵や技を活かして		
	キーワード	・中間支援組織の可能性 ・地域の成熟度と協働 ・プロジェクトマネジメント	・コミュニティ経済 ・若者 ・雇用	・次世代協働
	ねらい	誰もが参画できるまちづくりを実現するために、地域の中に開かれた場や優れたファシリテーターを設けることで、様々な人が本音で語り合えるような環境整備の重要性や、知恵や工夫、経験や実践例を共有・試行する機会をつくり、それを持ち帰ることで新たな課題解決の仕組み（新しい協働のカたち）を作り合うことの重要性について考える		
	パネラー案	・コミュニティカフェ関係者 ・コーディネーター ・「場」を運営している方	・市内中間支援組織 ・ファシリテーター	

分科会③	テーマ	・市民協働条例そのもの	
	キーワード	・市と市民等の責務 ・条例を知ってもらうためには	・協働契約
	ねらい	市民協働条例が施行されたことによる効果や課題、果たす役割などについて考える	
	パネラー案	・協働契約を締結している団体等	

【参考】その他分科会案

- ・団体紹介リレートーク
- ・活動紹介パネル展
- ・アンケート速報コーナー

○全体会Ⅱについて

テーマ	市民協働をつなげる ～協働を支えるステークホルダーの連携（多元的共生社会に向けて）～
ねらい	（各分科会からの報告を踏まえて・・・）市民活動団体、自治会・町内会、企業、大学など地域には様々な主体が存在し、時につながり、時に各々で活動をしている。今後の協働を新たなステージに“つなげる”ためには各主体同士の連携が必要になるため、今後の各主体の連携を図るために必要なことについて考える。
パネラー案	・それぞれのステークホルダーの代表者など

5 フォーラムイメージ図

